

★ Bannon 言行録

USA/TODAY紙は1月31日、BannonがNSC常任メンバーに就任して、安保外交政策の事実上のトップになったのを期に、同氏がブライトバートでのラジオ番組（2015～2016）で発言した内容を特集したレポートを報道した。以下は報道された過去の発言内容。
<http://www.usatoday.com/story/news/2017/01/31/bannon-odds-islam-china-decades-us-foreign-policy-doctrine/97292068/>

◇イスラムは世界でもっとも過激な宗教だ（2016/5/26）

◇（各地のモスクを包囲して住民が武器をもって立ち上がっている状況を記者がレポートするのを聞いて）この問題は15年間ずっと抑え込まれてきた。こういう会話は許されなかった。ブッシュは9・11のあとも平和を口にしてきたが、いまや大人の討論をする時だ。この討論は不愉快なことが多くあるかもしれないが、米国はいま戦争中だ。中東で再び大規模な銃撃戦争にはいつていくのは明らかだ（2015/11/27）

◇イスラムシンパの第5列が米政府とニュースメディアに浸透している（2016/7/15）

◇僕は南シナ海にいた。海軍士官だった。米国は5年か10年の間に南シナ海で戦争になるだろう。そうじゃないかい。それは疑いない。彼らは砂州を奪って不沈空母にし、ミサイルを配備している。そのうち米国の面前にやってくる。面前がどんなに重要かわかるよな、そしてここは古くから自分の領土だといひ出す（2016/3/10）

◇イスラムの覇権主義者もいるし、中国の覇権主義もあるよね。奴らはやる気まんまんで、態度が大きい。発展している。西側のユダヤ・キリスト教は後退している（2016/2/25）

◇欧州が1930年代にファシズムや共産主義を見下していた。いま欧州は真っ暗だといっていた。しかし実はもっと暗いところがあった。それはイスラム世界だ（2016/1/6）

◇（欧州への殺到する数百万の難民について）ある統計では、5～10%が過激なジハディストだといひ。あなたは文字通り数十万人といひけど、彼らは数十万、数百万、3百万人といひっているよ。あなたは多くの数からスタートしたけど、彼らの半分、60%がシャリアを信じているわけでしょ。数はころころ変わってくる。そして彼らはジェファーソンの民主主義者じゃないんだ。ここにやってくるのはDNAのなかに何千年もの民主主義がはいつた人たちじゃないんだよ（2016/4/7）。

◇メディアの取り上げ方が問題だ。冒涇禁止法に従ってイスラムを批判しない。大統領もクリントンも批判しない。西側のメディアがロンドンでも米国でもいまやシャリアの法に従って動いているなんて理解できるかね（2016/6/13）

◇あらゆる統計からみて中東のほとんどの人、少なくとも50%はシャリアに従う人たちだ。この人がシャリア法を押し付けようとするなら、米国にくるのはお角違ひだ。それはともかく、いま数百万人のイスラム教徒の移民の計画があるといひわれ、今後2、3年で毎年百万人がくるときいたけど、いまストップさせないと、どうあつても数百万人を受け入れなければならないことになっている。（2015/12/8）

◇ (英国で無宗教の人が増え、増えているのはイスラム教だという統計を報じる記者にたいして) 残酷な話だが、欧州ではキリスト教が死につつあって、イスラムが勃興している。だから欧州のエリートはイスラムの侵攻があるのに嘘をついている。これは移民じゃない、侵攻だ。ダボスのエリートたちは移民の危機は資源価格の低下が原因だといっているがある意味でそうだ (2016/1/19)

◇われわれのサイトの中心的な組織原則の一つは、米国は戦争中だということ。まさに戦争だ。毎日取り上げている。米国の戦争。米国は戦争中だということを (2015/11/17)

(以上)